

補助金支出明細書

1. 補助金の名称	平成20年度住宅市場整備等推進事業	
2. 事業の目的及び内容		
(1) 目的	<p>建材からのVOC放散については、JIS A1901に規定された小形チャンバー法で得られたデータを基に論じられている。新たに示された「建材からのVOC放散速度基準」（建材からのVOC放散速度基準化研究会）に示された基準値も、JIS A1901に基づいた放散速度の値が示されている。</p> <p>しかし、現状この測定法では多額の費用と長期の測定時間が必要であり、例えば品質管理を目的として、全ての建材製品を定期的に測定することには限界がある。より簡便な測定法でVOC発散情報を得ることができれば、これまで蓄積したVOCデータとの比較も含め、各種測定法に関連性についても多くの知見を得ることができる。そして、このデータを活用することにより、自主制度として運用が始まった「建材からのVOC放散に関する表示制度」への信頼性も高まること、かつ住宅室内の安全性についての判断がより容易になり、国民の健康に寄与することと考えられる。</p>	
(2) 具体的な内容	<p>①簡易測定法として、4Lバケツ法による建材からのVOC放散挙動に関する調査</p> <p>パーティクルボード（PB）を基材にして、化粧材としてコート紙を、意図的にトルエンを添加した接着剤にて表面接着した化粧板サンプルについて、簡易測定法として設定したバケツ法にて、VOC（トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレン）の放散を測定する。</p> <p>すなわち、捕集管を保持したバケツ内に試験体を置き、それから放散されるVOCを捕集管にて捕集し、主としてトルエンの放散挙動をもとに、種々の要因の影響を検証する。</p> <p>なお、同試験体を小形チャンバー法（JIS A1901）にてもVOC放散の測定を行い、バケツ法と小形チャンバー法との関連性について調査する。</p> <p>②バケツ内での建材からのVOCの放散挙動に関する理論式の提案とその検証</p> <p>バケツを想定した密閉系でのVOC濃度変化に関する理論式を提案する。また捕集管へのVOCの捕集量の試験結果を理論式に適用してその妥当性を検証し、簡易測定法としての有効性を確認する。</p>	
3. 交付先の公益法人の名称	社団法人 日本建材・住宅設備産業協会	
4. 交付実績額（補助率1/2）	1,500千円(A)	
5. 補助金における管理費		
(1) 人件費	251千円	
(2) 一般管理費	千円	
(3) その他の管理費		
	内 容	金 額
	旅費	15千円

	合 計	1 5 千円
	合 計	2 6 6 千円
6.外部への支出		
(1) 外部に再補助されているものに関する支出		
支出内容	支出先	金 額
実験委託	(株)三菱化学アパテック	7 0 0 千円
合 計		7 0 0 千円 (B)
(2) (1) 以外の支出		
支出内容	支出先	金 額
報償費	各委員	6 3 千円
需用費	(有)共同信和	2 3 5 千円
役務費	各報告書執筆委員	2 3 4 千円
使用料及び賃借料	中央区総合スポーツセンター	2 千円
合 計		5 3 4 千円
7.その他		
内 容		金 額
		千円
合 計		千円
8.再補助の割合		4 7 %